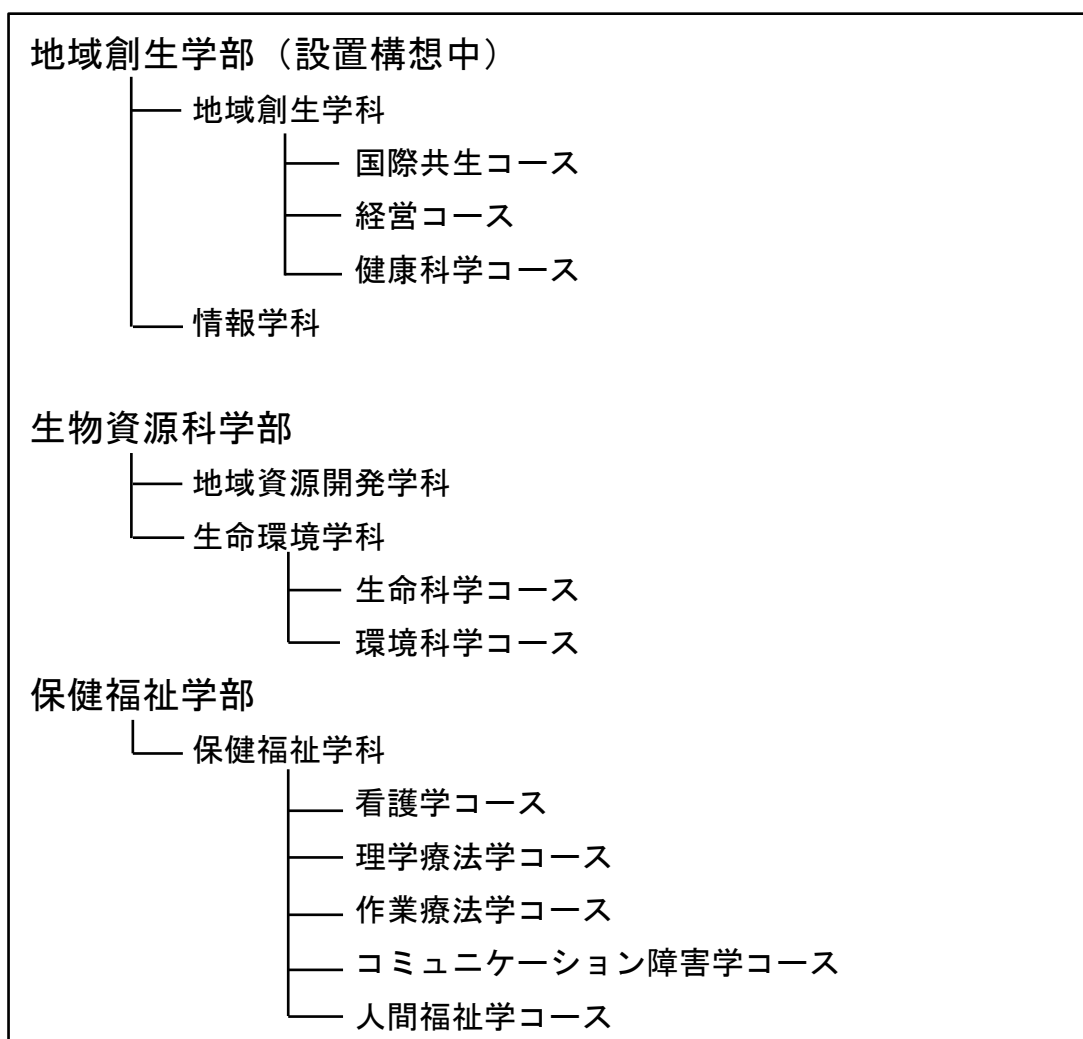


令和8（2026）年度 入学者選抜要項

暫定版¹



令和7（2025）年5月発行

¹ 「入学者選抜要項」は文部科学省が定める「入学者選抜実施要項」により、7月31日までに公表することとなっていますが、現時点の暫定版として公表します。なお、確定版の公表は7月を予定していますので、確定情報についてはそちらをご確認ください。

目 次

1	県立広島大学の入学者選抜の特徴	1
2	令和8年度入学者選抜における主な変更点等	2
3	入学者選抜日程	3
4	入学定員及び募集人員	4
5	アドミッション・ポリシー(求める学生像)	5
6	一般選抜(前期日程・後期日程)	8
7	学校推薦型選抜	22
8	総合型選抜	35
9	社会人特別選抜	37
10	外国人留学生特別選抜	39
11	身体障害者等の受験上の配慮及び修学上の配慮相談	41
12	個別の入学資格審査	41
13	出願・入学手続	41
14	入試情報(成績)の提供・開示	41

※ やむを得ない事情等により、この要項に記載している内容は変更になる場合があります。最新の情報は、各入学者選抜区分の学生募集要項並びに本学ホームページにより公表しますので、必ず、定期的な確認をしてください。

県立広島大学の授業料・奨学金について

入学料・授業料

	県内	県外
入学料	282,000 円	394,800 円
授業料	通年 535,800 円（半期 267,900 円）	

※生物資源科学部（庄原キャンパス）については、施設費（年額 15,600 円）が別途必要です。

※生物資源科学部地域資源開発学科では、アジア地域で 2 週間程度の海外農業研修を予定しており、別途参加費が必要になります（20 万円程度。実際の交通手段や状況に応じて金額は変動する場合があります。）。

奨学金・授業料減免

国の高等教育の修学支援制度

国の高等教育の修学支援制度により、日本学生支援機構（以下「JASSO」という。）の給付奨学金と合わせて、授業料及び入学料の減免が受けられます。住民税非課税世帯、それに準ずる世帯で一定の家計基準と学力基準などの要件を満たす日本人学部生が対象です。また、令和 7 年 4 月から多子世帯への支援が拡充されています。高校での予約採用、または大学入学後、年間 2 回（春季・秋季）の申し込み機会があります。保護者などの学費出資者の方と相談の上、高校または大学を通じて申し込みしてください。審査の結果、採用となった場合、支援が受けられます。

日本学生支援機構貸与型奨学金

JASSO の貸与型奨学金は、経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資を貸与する制度で、これまで多くの先輩たちが利用してきました。奨学金は、学生が自立して学ぶことを支援するために学生本人に貸与されます。奨学生が返還するお金は、次の世代の奨学金として使われ、先輩から後輩へとリレーされていくものです。このことを理解し、責任を持って有効かつ計画的に利用しましょう。

貸与奨学金の種別及び貸与月額

区分		貸与月額
第一種奨学金（無利子）	自宅通学者	20,000 円、30,000 円、45,000 円から選択
	自宅外通学者	20,000 円、30,000 円、40,000 円、51,000 円から選択
第二種奨学金（有利子）		20,000 円～120,000 円のうち、10,000 円単位で月額を選択
入学時特別増額貸与奨学金（有利子）※条件・基準あり		10 万円、20 万円、30 万円、40 万円、50 万円から選択

地方公共団体・公益財団法人などの奨学金制度

地方公共団体、公益財団法人などが奨学金を設けています。これらの団体から推薦依頼があったときは、その都度、各キャンパスの学生掲示板にてお知らせしています。

授業料減免

国の高等教育の修学支援制度の対象とならない留学生・大学院生・専攻科生、または不測の災害などのため授業料の納付が著しく困難な学生で、一定の家計基準と学力基準などの要件を満たす方は、授業料の減免を認める場合があります。採用となった場合、授業料の半額が減免されます。

※「国の高等教育の修学支援制度」とは異なる、本学独自の制度です。

※ 県立広島大学のホームページでも最新情報等をお知らせしています。
<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/life/5/5/42/>

1 県立広島大学の入学者選抜の特徴

県立広島大学では、通常の個別学力検査等とあわせて、「学力の3要素」（1. 知識・技能、2. 思考力・判断力・表現力、3. 主体性・協働性）などについてより多面的・総合的に評価するため、様々な入学者選抜方法を導入しています。その中でも特徴的なものを説明します。

(1) 地域課題解決に向けた志向性の評価

本学では「課題探究型地域創生人材」の育成を目標としており、そのために必要な志向性を評価する選抜方法として次の評価制度を導入しています。

課題探究型地域創生人材とは・・・広島県に限らず全国、さらには海外も含め、自らが暮らし、活動してきた地域に目を向け、そこに生じている様々な分野の課題に関心を持ち、他者とも協働しながら主体的に課題探究を行い、その解決に向けて積極的に行動していこうとする熱意や意欲を持ち、行動できる人。

① 「主体性・協働性」の評価

- ア 「主体性・協働性」は、高等学校等における学びの履歴について、総合型選抜、学校推薦型選抜及び社会人特別選抜で、調査書等を中心として評価し、得点化を行います。
- イ 調査書における評価（記載）項目については、各学部・学科等の各選抜区分において設定することとし、具体的な内容を、本学ホームページ又は学生募集要項等において明示します。
- ウ 令和8年度入学者選抜において、本学ではJAPAN e-Portfolioを利用しません。
- エ 令和8年度入学者選抜においては、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、総合型選抜及び学校推薦型選抜では、高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等の成績を評価する際には、評価の方法や重み付け等に配慮し、諸活動や資格・検定試験等が中止・延期等となった場合でも、この間の個々の志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスや主体的な取組、本学で学ぼうとする意欲を多面的・総合的に評価します。
- オ 令和8年度入学者選抜において、調査書については、出席日数や特別活動の記録や、その他、指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、入学志願者が不利益を被ることがないように配慮します。

② 「県立広島大学・地域への志向性」の評価

本学が掲げる「課題探究型地域創生人材」の育成の観点から、すべての学部及びすべての選抜区分（ただし、外国人留学生特別選抜は除く）において実施します。以下に示すような取組の中から、自身が課題だと考えた点、解決したい・掘り下げてみたいと考えた内容について、今後、自身の大学での学びにどのようにつなげていきたいかを受験者が記載した「評価申請書（提出は任意）」に基づき、最大5点までの範囲で加点方式により、評価します。

なお、取組の時期は問いません。

- ア 本学が公開する講座や高大接続事業等への参加（オンラインによる視聴等を含む。）

【公開講座や高大接続事業等の例】

- ・ 高大連携公開講座（教育ネットワーク中国主催）
- ・ 中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」（教育ネットワーク中国主催）
- ・ 地域基盤研究機構地域連携センター公開講座・シンポジウム
- ・ 「県大へ行こうー授業公開ー」（本学の公開授業）
- ・ 模擬講義（オープンキャンパスや施設見学等の企画として本学において実施／高等学校において実施）
- イ 他大学が公開する講座や高大接続事業等（アに準ずるもの）への参加（オンラインによる視聴等を含む。）
- ウ 「総合的な探究の時間」における取組
- エ 地域における取組等（ボランティア活動への参加や、部活動等において地域に関する活動等に取組んだ場合）
- オ その他「県立広島大学・地域への志向性」の取組と認められるもの（本学教員の著書や論文の読了、本学ホームページの閲覧等）

(2) 個別学力検査等における「総合問題」の出題

教科・科目に対する「知識・技能」を問うことに加えて、高等学校段階までに修得した「知識・技能」を活用（応用）する力をより重視する必要があるため、理解力・表現力、論理的思考力等を総合的にみる形式の問題を出題します。

※ 令和8年度入学者選抜では、一般選抜（前期日程・後期日程）において出題します。（詳細は9ページを参照）

<身体障害者等の受験上の配慮及び修学上の配慮相談>

本学では、身体等に障害のある入学志願者等の、受験上及び修学上の配慮について相談を受け付けています。

詳細は、各入学者選抜の学生募集要項や県立広島大学ホームページ（下記 URL）を確認してください。

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/32/hairyo.html>

2 令和8年度入学者選抜における主な変更点等

令和8年度入学者選抜における、変更点は次のとおりです。

(1) 学科再編*

地域創生学部

学科	コース
地域創生学科	地域文化コース
	地域産業コース経営志向枠
	地域産業コース応用情報志向枠
	健康科学コース



学科	コース
地域創生学科	国際共生コース
	経営コース
	健康科学コース
情報学科	

※設置構想中の予定であり、変更となる可能性があります。

(2) 「経過選択制」に係る募集枠の廃止

一般選抜（後期日程）に設けていた経過選択制の募集枠を廃止します。

- ・地域創生学部地域創生学科（地域文化コース及び地域産業コース）
- ・生物資源科学部生命環境学科

(3) 「コース選択枠」に係る募集枠の廃止

一般選抜（前期日程）に設けていたコース選択枠の募集枠を廃止します。

- ・保健福祉学部保健福祉学科

(4) 募集人員の変更について

変更のある区分、学部等については次のとおりです。

① 一般選抜

学部	学科	コース	日程	令和7年度	(単位：人)	
					令和7年度	令和8年度
地域創生学部	地域創生学科	国際共生コース	後期	—※ ¹	10	10
		経営コース	前期	24※ ²	22	22
	情報学科	—	後期	—※ ¹	4	4
			前期	19※ ³	20	20
生物資源科学部	生命環境学科	生命科学コース	後期	—※ ¹	4	4
			後期	—※ ¹	10	10
	環境科学コース	—	後期	—※ ¹	10	10
			後期	—※ ¹	10	10
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	前期	31	33	33
		理学療法学コース		15	16	16
		作業療法学コース		15	16	16
		コミュニケーション障害学コース		15	16	16

② 特別選抜

選抜区分	学部	学科	コース	令和7年度	(単位：人)	
					令和7年度	令和8年度
学校推薦型選抜 県内高等学校等	保健福祉学部	保健福祉学科	人間福祉学コース	11	12	12
外国人留学生 特別選抜	地域創生学部	地域創生学科	経営コース	3※ ²	2	2

※1・・・学科毎に「経過選択制」に係る募集を実施

※2・・・地域創生学部地域創生学科地域産業コース経営志向枠の募集人員

※3・・・地域創生学部地域創生学科地域産業コース応用情報志向枠の募集人員

(5) 一般選抜における主な変更点について

① 個別学力検査の配点を次のとおり変更します。

学部	学科	コース	日程	令和7年度		令和8年度	
				科目	配点	科目	配点
地域創生学部	地域創生学科	経営コース	前期※ ¹	総合問題	300	総合問題	150
			後期※ ³	総合問題	150	共通テストの得点のみ	
	情報学科	—	前期※ ²	総合問題	200	面接	200
			後期※ ³	総合問題	150	共通テストの得点のみ	
生物資源科学部	生命環境学科	生命科学コース	前期	総合問題	200	総合問題	150

② 大学共通テストの利用教科・科目、配点等を次のとおり変更します。

学部	学科	コース	日程	内容
地域創生学部	情報学科	—	後期※ ³	○利用教科：「地理歴史、公民」、「理科」、「情報」、「数学」の科目から2科目⇒「 地理歴史、公民 」、「 理科 」、「 情報 」の科目から 1科目 ○「国語」の配点：100点⇒ 200点 ○「数学」の配点：各100点⇒ 各200点 ○「外国語」の配点：100点⇒ 200点 ○大学共通テストの利用教科における配点：区分合計400点⇒ 900点
生物資源科学部	生命環境学科	生命科学コース	前期	○利用教科：「国語」、「地理歴史、公民」、「数学」から2科目、「理科」から2科目、「外国語」から1科目、「情報」から1科目⇒「 国語 」、「 地理歴史、公民 」、「 外国語 」の科目から2科目、「 数学 」、「 情報 」の科目から 1科目 、「 理科 」から 1科目 ○「理科」の配点：400点⇒ 100点 ○大学共通テストの利用教科における配点：区分合計1,050点⇒ 400点
			後期※ ⁴	○利用教科：「国語」、「地理歴史、公民」、「数学」から2科目、「理科」から2科目、「外国語」から1科目⇒「 数学 」から 2科目 、「 理科 」から 2科目 、「 外国語 」から 1科目 ○「外国語」の配点：200点⇒ 100点 ○「理科」の配点：400点⇒ 200点 ○大学共通テストの利用教科における配点：区分合計1,050点⇒ 500点
		環境科学コース	前期	○利用教科：「国語」から1科目、「地理歴史、公民」から1科目、「数学」から2科目、「理科」から2科目、「外国語」から1科目、「情報」から1科目⇒「 数学 」から 2科目 、「 理科 」から 2科目 、「 外国語 」から 1科目 、「 情報 」から 1科目 ○大学共通テストの利用教科における配点：区分合計1,050点⇒ 850点
			後期※ ⁴	○利用教科：「国語」、「地理歴史、公民」、「数学」から2科目、「理科」から2科目、「外国語」から1科目、「情報」から1科目⇒「 数学 」から 2科目 、「 理科 」から 2科目 、「 外国語 」から 1科目 ○大学共通テストの利用教科における配点：区分合計1,050点⇒ 800点

※1・・・地域創生学部地域創生学科地域産業コース経営志向枠の内容との比較

※2・・・地域創生学部地域創生学科地域産業コース応用情報志向枠の内容との比較

※3・・・地域創生学部地域創生学科《経過選択》の内容との比較

※4・・・生物資源科学部生命環境学科《経過選択》の内容との比較

(6) 外国人留学生特別選抜における主な変更点について

(1) 地域創生学部における試験実施方法を次のとおり変更します。

令和7年度	令和8年度
実施方法	実施方法
オンライン	対面



3 入学者選抜日程

■ 学部

区 分	募集要項公表	出願期間	試 験 日	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	10月中旬	1月26日(月)～ 2月4日(水)	2月25日(水)	3月6日(金)	3月7日(土)～ 3月15日(日)
			3月12日(木)	3月20日(金)	3月21日(土)～ 3月27日(金)
学校推薦型選抜	9月上旬	11月1日(土)～ 11月8日(土)	11月21日(金)	12月11日(木) 共通テストを課す場合 2月10日(火)	12月12日(金)～ 12月19日(金) 共通テストを課す場合 2月11日(水)～ 2月17日(火)
総合型選抜	7月下旬	9月1日(月)～ 9月8日(月)	第1次選抜結果通知日 9月22日(月) 第2次選抜期日 10月4日(土)	11月1日(土)	11月2日(日)～ 11月14日(金)
社 会 人	7月下旬	9月12日(金)～ 9月19日(金)	生物資源科学部 10月4日(土) 地域創生学部、保健福祉学部 10月6日(月)	11月1日(土)	11月2日(日)～ 11月14日(金)
外国人留学生	10月中旬	12月22日(月)～ 1月7日(水)	1月28日(水)	2月9日(月)	2月10日(火)～ 2月19日(木)

※ 各選抜区分の詳細については、学生募集要項で公表します。必ず、確認の上、出願してください。

4 入学定員及び募集人員

学部	学 科・コース		入学定員	募 集 人 員 の 内 訳(人)									
				一 般 選 抜		特 別 選 抜							
				前期日程		後期日程		学校推薦型選抜			総合型選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
				前期	後期	県内 高等学校等	県内専門 高等学校等	全国 高等学校等					
地域創生学部	地域創生学科	国際共生コース	160	32	10	15	—	5	10	若干名	3		
		経営コース		22	4	16	2	4	—	若干名	2		
		健康科学コース		20	—	9	2	2	—	若干名	2		
	情報学科		40	20	4	10	1	3	—	若干名	2		
生物資源科学部	地域資源開発学科		40	14	—	5	4	6	9	若干名	2		
	学 生 命 環 境 科 境	生命科学コース	100	23	10	7	2	6	—	若干名	2		
		環境科学コース		23	10	7	2	6		若干名	2		
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	190	33	6	20	1	—	—	若干名	—		
		理学療法学コース		16	3	11	—	—		若干名			
		作業療法学コース		16	3	9	—	2		若干名			
		コミュニケーション障害学コース		16	3	7	—	4		若干名			
		人間福祉学コース		21	3	12	1	3		若干名			
合 計			530	256	56	128	15	41	19		15		

(注)

- 1 特別選抜における合格者が募集人員に満たなかった場合は、学科・コースごとに一般選抜（前期日程）の合格者で補充します。
- 2 一般選抜（前期日程・後期日程）の後、定員充足状況等により追加の選抜試験を実施する場合があります。

5 アドミッション・ポリシー(求める学生像)

本学は、基本理念や教育の特色を踏まえ、次のような学生を求めています。

学士課程全体のアドミッション・ポリシー

県立広島大学は、次に掲げる「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」を持ち、地域社会の発展に貢献したいと願う人を求めています。入学選抜にあたっては、学力検査、小論文、面接等により、多面的に資質や意欲を評価し、決定します。

知識・技能	・ 高等学校等での学びを通じた基礎学力を身に付けている。
思考力・判断力・表現力	・ 物事を様々な視点から捉え、柔軟に思考できる。 ・ 筋道立てて考え、その場にふさわしい表現を用いて伝えることができる。
主体性・協働性	・ 自らの能力の向上を目指し、主体的に学ぶことができる。 ・ 多様な他者を理解しようと努め、協力して物事を前進させることができる。

各学部・学科等のアドミッション・ポリシー

地域創生学部	地域創生学部は、国際共生、経営、健康科学、情報学のいずれかに強い関心を持ち、それらの知識・技能を身に付け、地域社会の持続的な発展に対する将来の貢献を目指す次の学生を求めます。 【知識・技能】 ◆高等学校で学ぶ基礎的知識を身につけ、国際共生、経営、健康、情報について学ぶうえで必要な基礎学力・理解力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆様々な社会事象を複眼的に捉え、それに対する自らの意見や主張、課題解決の道筋を論理的に、かつ熱意をもって説明できる人 【主体性・協働性】 ◆自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心を持ち、国際共生、経営、健康、情報の分野から、地域社会の持続的な発展に貢献したいという意欲を持つ人 ◆高い倫理観と豊かな人間性を持ち、他者の理解に努め、また他者と協働して活動を遂行することができるコミュニケーション能力を持つ人
地域創生学科	地域創生学科は、国際共生、経営、健康科学のいずれかに強い関心を持ち、それらの知識・技能を身につけ、地域社会の持続的な発展に対する将来の貢献を目指す次のような学生を求めます。 【知識・技能】 ◆高等学校で学ぶ基礎的知識を身につけ、国際共生、経営、健康について学ぶうえで必要な基礎学力・理解力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆様々な社会事象を複眼的に捉え、それに対する自らの意見や主張を論理的に、かつ熱意をもって説明できる人 【主体性・協働性】 ◆自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心を持ち、国際共生、産業、健康の分野から、地域社会の持続的な発展に貢献したいという意欲を持つ人 ◆高い倫理観と豊かな人間性を持ち、他者の理解に努め、また他者と協働して活動を遂行することができるコミュニケーション能力を持つ人
国際共生コース	【知識・技能】 ◆日本や世界の各地で継承・展開されてきた言語文化及び社会文化に強い関心を持ち、それらについての基礎的な知識・技能を身につけている人 ◆自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心を持ち、それらについての基礎的な知識・技能をバランスよく身につけている人 【思考力・判断力・表現力】 ◆基礎的な学力を身につけた上で、自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地の言語、社会、歴史、政治、教育、法、文芸、芸術、思想、心理などの人文科学的・社会科学的事象を複数の視点から相対的に捉え、自身の考えを適切に表現できる能力を身につけている人 【主体性・協働性】 ◆基礎的な学力を基盤として、主体的に探究と考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持っている人
経営コース	【知識・技能】 ◆高等学校で学ぶ英語、国語、地理歴史・公民、数学、理科ないし情報に関して十分な基礎学力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆ものごとを多角的にとらえ、論理的に思考し、客観的事実に基づいて適切に判断することができる人 ◆自分の考えを的確に表現し、他者にわかりやすく伝えることができる人 【主体性・協働性】 ◆基礎的な学力を基盤として、主体的に考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持つ人 ◆企業や組織のしくみ及び活動を理解することに意欲や関心を持つ人 ◆経営戦略・マーケティング、会計・ファイナンスおよび政策科学の専門知識を主体的・協働的に学修し、それを活かして社会・地域に貢献し、活動することに関心のある人 ◆経営戦略・マーケティング、会計・ファイナンスおよび政策科学の専門知識を主体的・協働的に学修し、それを活かした職業につきたいと思っている人
健康科学コース	【知識・技能】 ◆高等学校で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆論理的に思考し、様々な観点から多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人 ◆健康科学に関する自分の考えを、日本語でわかりやすく表現することができる人 【主体性・協働性】 ◆「生体・運動」「食品・栄養」「健康管理」のかかわりに興味を持ち、健康の維持・増進について主体的に地域社会に貢献する意欲がある人 ◆健康の維持・増進並びに疾病予防に関する課題に対して、他者と協働して解決する意欲がある人

	情報学科	地域創生学部のアドミッション・ポリシーを踏まえ、情報学科は、情報学の専門的知識と技能の修得を目指す、次のような学生を求める。 【知識・技能】 ◆高等学校で英語、国語、地理歴史・公民、数学、理科、情報に関して十分な基礎学力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ・課題解決に際して、数学や情報の基礎的な考え方に基づき、課題解決の道筋を他者に論理的に説明できる人 ・データの分析や処理に際して、対象となる物事の動作や順序を正しく認識し、プログラミング的思考により目的達成の効率的な手段を考えられる人 【主体性・協働性】 ◆基礎的な学力を基盤として、主体的に考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持っている人 ◆企業や組織のしくみや活動に意欲や関心を持つ人 ◆コンピュータの仕組み、情報ネットワーク、情報セキュリティなどの理解や、データの分析・処理などによる新たな価値の創出に意欲や関心を持つ人
	生物資源科学部	農・食・生命・環境のいずれかの分野に強い関心を持ち、生物生産技術の開発による安定した食料生産、食の機能性・安全性の評価や生命機能の解明・生物資源の開発を通じた健康の維持・促進、良好な生存環境の創出、地球環境の保全や修復などの領域において、課題解決に必要な実践的・先端的知識と技術を身に付け、将来、新しい社会的、文化的、産業的な価値を生み出し、持続可能な社会の構築に貢献できる「課題探究型地域創生人材」として活躍したいという熱意と行動力を持った人を求める。
	地域資源開発学科	【知識・技能】 ◆「農」や「食」の分野において専門的かつ実践的な知識技能と科学的根拠に基づく情報発信力、マネジメント力を有し地域の課題解決に貢献したい人、特に実践的な技術者や研究者として活躍したいと考えている人 ◆未来につながる持続的農業システムや食品加工に強い関心を持ち、里山や各地域のもつ伝統的なもののよさを踏まえた科学的な専門的知識、技能を用いて新産業の創設や六次産業化により地域の発展に貢献する意欲がある人 ◆「農」や「食」の分野における専門家を目指し、大学院に進学してより深い知識や高い技術を身に付け、グローバルに活躍したい人 【思考力・判断力・表現力】 ◆実験や実践的なフィールド研究を踏まえ、伝統的知識と科学的知識を合わせて自ら思考判断して地域の持つ課題を解決する人 ◆農業、食品加工、経営マネジメントへの ICT、AI、ロボットなど新しい技術の活用や発見を目指す知的探究をしつつ、修得したものをその表現力をもって課題解決策を発信して地域に還元し、地域貢献を考える意欲がある人 【主体性・協働性】 ◆柔軟な思考と実践力を身に付け、地域社会が抱える多様な課題に対し、他者と協働しながら自ら主体的に活動し、地域の課題解決策を発信していく熱意と行動力を持った人
	生命環境学科	生命環境学科では、生命科学と環境科学に関する新しい知識や技術を積極的に吸収し、科学技術の発展を通じて社会に貢献したい人を求める。 ◆ライフサイエンスやバイオテクノロジー、持続可能な社会の構築、良好な生存環境の創出など「人々の生存」に関わる分野において、生命科学と環境科学に関する専門知識、新たな概念や技術を探究して活用するとともに、他者と協働しながら主体的に活動し、課題解決策を発信していく熱意と行動力を持った人
	生命科学コース	【知識・技能】 ◆「生命機能の解明」や「生物資源の開発」に興味をもち、ライフサイエンスやバイオテクノロジーに関する新しい知識と先端技術の修得に積極的な人 【思考力・判断力・表現力】 ◆生命科学及び周辺分野の課題を見出し、専門知識・技術を生かして、それらの課題を分析して解決策を明らかにしようと努力する人 【主体性・協働性】 ◆生命科学分野の専門家を目指し、積極的に大学院に進学してより深い知識や高い技術を身につけようとする人 ◆医薬品・化粧品・食品・アグリバイオ・生殖科学など、人々の生存や繁栄に関わる分野の諸問題を、生命科学および関連分野の専門家と一緒に議論しながら解決したいと考えている人
	環境科学コース	【知識・技能】 ◆教員や公務員として専門知識や技能を活かした人材育成、住民福祉や生活環境の向上を目指す人 ◆生命環境分野における専門家を目指し、大学院に進学してより深い知識や高い技術を身に付け、グローバルに活躍したい人 ◆環境科学に関する新しい知識や技術を積極的に吸収し、科学技術の発展を通じて社会に貢献したい人 【思考力・判断力・表現力】 ◆実験や調査などを通じた研究によって自ら問題を解決し、新しい発見を目指す知的探究が好きな人 ◆柔軟な思考と実践力、科学を学ぶ者としての倫理観を身に付け、国際社会や地域が抱える多様な問題に対し果敢に立ち向かい解決しようとする人 【主体性・協働性】 ◆持続可能な社会の構築、良好な生存環境の創出など「人々の生存」に関わる分野に広い興味を持ち、自ら学ぶ意思と積極性を有している人 ◆循環型材料・技術の開発、環境の分析や評価、環境修復や良好な環境の創出に関わる仕事に就きたいと考えている人

保健福祉学部 保健福祉学科	地域が抱える保健・医療・福祉分野の諸問題に関心を持ち、主体的にその解決のための行動を起こすことによって持続可能な地域の発展に貢献できる「課題探究型地域創生人材」の育成を目標とし、高等学校で学ぶ基礎的知識を身に付けた上で、入学後も生涯にわたり主体的に学び続ける意欲がある、次のような人材を求めます。 【知識・判断力・表現力】 ◆保健・医療・福祉分野についての専門知識を修得するための基礎学力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観と豊かな人間性を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる理解力や判断力を有している人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 【主体性・協働性】 ◆自ら主体的に学ぼうとする学修意欲を有している人 ◆多様性を尊重する視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人 ◆円滑にチームワークを進めることができるコミュニケーション能力を身に付けている人
看護学 コース	【知識・技能】 ◆保健・医療・福祉分野に関わる専門的知識・技能の修得に必要な基礎学力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆人類愛と倫理観を備えた豊かな人間性を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる理解力や判断力を有している人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、創造的に考え行動することができる人 【主体性・協働性】 ◆生命への尊厳を持ち、医療や健康に対する高い関心を有している人 ◆主体的に学ぼうとする意欲を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性とチームで活動するための協働性を有している人 ◆生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会に貢献する意欲を有している人
理学療法学 コース	【知識・技能】 ◆専門知識を修得するための基礎学力を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる基礎学力・理解力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観・豊かな人間性・教養を持ち、自己表現することができる人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 ◆論理的に思考し客観的に判断できる能力を有している人 【主体性・協働性】 ◆自ら主体的に学ぼうとする学修意欲を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性があり、チームで活動することができる人 ◆生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人 ◆円滑にチームワークを進めることができるコミュニケーション能力を身に付けている人
作業療法学 コース	【知識・技能】 ◆人の作業と健康の問題を理解し、問題解決に向けて臨機応変に対応できる基礎学力・理解力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観を持ち、多様な価値観を受け入れることができる柔軟性を有している人 ◆多面的に物事を捉え、自分の考えを的確に表現できる力を有している人 ◆作業療法に対する探究心を持ち、前向きに辛抱強く努力することができる力を有している人 【主体性・協働性】 ◆自ら主体的に学ぼうとする学修意欲を有し、生涯にわたって作業療法の専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆多様性を尊重し、人の立場に立って物事を考えることができる想像力と共感性を有している人 ◆柔軟性と協調性を有し、チームで課題解決に向けて行動できるコミュニケーション力と実践力を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人
コミュニケーション 障害学コース	【知識・技能】 ◆コミュニケーション障害学とその周辺分野について専門的に学ぶために必要な、未知なことの学修に必要な基礎学力・理解力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観と豊かな人間性を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる理解力や判断力を有している人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 【主体性・協働性】 ◆コミュニケーション障害及び摂食嚥下機能とその障害について主体的に学ぼうとする強い意欲を有している人 ◆生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性があり、チームで活動することができる人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人 ◆自身とは異なる立場（年齢、地域性、文化的背景など）を持つ人々に係わった経験があり、他者の立場や意見を尊重しながら、積極的・意欲的にコミュニケーションを取ることができる人
人間福祉学 コース	【知識・技能】 ◆人が社会生活を営む上で生じる様々な課題の解決に必要な専門知識や技術を修得するための基礎学力・理解力を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性があり、チームワークに必要なコミュニケーション能力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆生活問題や社会問題への関心、科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 ◆高い倫理観と豊かな人間性を基盤とした、誠実さを有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応するための、多面的かつ論理的な理解力、判断力、表現力を有している人 【主体性・協働性】 ◆自己形成に向けて、主体的に学び取り組もうとする学修意欲を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人

詳細については、「県立広島大学の3つの方針（ポリシー）」（本学ホームページ）で確認してください。

学部・学科・コース共通事項

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和8年度大学入学共通テストにおいて、志望する学部・学科・コースごとに
 本学が指定する教科・科目をすべて受験した者としてします。

出願にあたっては、令和8年度一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項を必ず確認してください。

ア 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者又は令和8年3月31日までにこれを卒業する見込みである者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和8年3月31日までにこれを修了する見込みである者

ウ 学校教育法施行規則第150条の規定(注)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は
 令和8年3月31日までにこれに該当する見込みである者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号(大学による個別の入学資格審査)による出願を希望する者は、本学に入学資格認定申請を行い、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要がありますので、本部事務部入試・広報課(082-251-9540)まで連絡してください。

(2) 募集方法

本学は、各学部とも分離・分割方式により「前期日程」及び「後期日程」に分けて募集し、日程ごとに合格者を決定します。

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、令和8年度大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の結果を総合して行います。

なお、一般選抜（前期日程・後期日程）においては、2段階選抜は実施しません。

(4) 大学入学共通テストの利用教科・科目

ア 各学部・学科等の「大学入学共通テスト試験の利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点」欄を参照してください。

イ 各教科・科目の取扱

① 国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語）、情報

各教科・科目の成績を、各学部・学科等で利用する配点に換算します。また、英語以外の外国語を選択した場合は、筆記（200点満点）の成績を、各学部・学科等で利用する配点に換算します。

② 外国語（英語）

・リーディング及びリスニングを、外国語（英語）を利用する学部・学科等の全受験者に、出願要件として課します。

・英語の得点については、リーディング（100点満点）、リスニング（100点満点）の合計点（200点満点）を、下記の表のとおり取り扱うこととし、各学部・学科等が定めている配点に換算します。

募集区分 学部・学科等	リーディング	リスニング	合計
一般選抜（前期日程・後期日程） 地域創生学部 地域創生学科 経営コース	80点満点	20点満点	100点満点
一般選抜（前期日程） 地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース	80点満点	20点満点	100点満点
一般選抜（前期日程・後期日程） 地域創生学部 情報学科	160点満点	40点満点	200点満点
一般選抜（前期日程） 生物資源科学部 地域資源開発学科	160点満点	40点満点	200点満点
一般選抜（前期日程・後期日程） 生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース	80点満点	20点満点	100点満点
一般選抜（前期日程・後期日程） 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース	160点満点	40点満点	200点満点
一般選抜（前期日程・後期日程） その他の区分、学部・学科等	100点満点	100点満点	200点満点

* 重度難聴者等でリスニングを免除された場合は、リーディング（100点満点）の得点を英語の得点とし、各学部・学科等が定めている配点に換算します。

ウ 「数学」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、各学部・学科等が指定した科目のうち、最高得点の科目の得点を採用します。

エ 「地理歴史、公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。ただし、生物資源科学部生命環境学科生命科学コースについては、いずれか高い方の得点を採用します。

オ 「理科」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。ただし、生物資源科学部生命環境学科生命科学コースについては、いずれか高い方の得点を採用します。

カ 「理科」の『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』については、4つの出題範囲から2つを選択してください。ただし、地域創生学部地域創生学科健康科学コース及び保健福祉学部保健福祉学科看護学コースについては、「地学基礎」を除くため、他の3つの出題範囲から2つを選択してください。

(5) 個別学力検査等における「総合問題」

学部	学科	コース	日程	試験時間	内容等
地域創生学部	地域創生学科	国際共生コース	前期	100分	複数の課題文や資料（論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等）をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。
		経営コース			
		国際共生コース	後期		
生物資源科学部	地域資源開発学科		前期		
	生命環境学科	生命科学コース			
		環境科学コース	後期		
		生命科学コース			
		環境科学コース			
保健福祉学部	保健福祉学科	人間福祉学コース	前期		
			後期		

※ 各問題の点数（100点）を、各学部・学科等が定めている配点に換算します。

(6) 「県立広島大学・地域への志向性」の評価

本学が掲げる「課題探究型地域創生人材」育成の観点から、これまでの取組で考えたことなどを受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、最大5点までの範囲で加点方式により評価します。詳細は1ページを確認してください。

(7) 個別学力検査等の試験場

学部・学科		試験場
地域創生学部	地域創生学科	県立広島大学広島キャンパス
	情報学科	
生物資源科学部※	地域資源開発学科	県立広島大学庄原キャンパス
	生命環境学科	県立広島大学庄原キャンパス
		県立広島大学広島キャンパス
保健福祉学部	保健福祉学科	県立広島大学三原キャンパス

※ 試験会場は変更となる場合があります。確定情報については、「入学者選抜要項（確定版）」をご確認ください。

各学部・学科・コースにおける試験区分及び試験教科・科目等

■ 地域創生学部 地域創生学科 国際共生コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (32)	大学入学 共通テスト 4教科4科目	国 語	『国語』	200	700	900
		地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	200		
		数 学 理 科 情 報	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』から1科目	100		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目	200		
	個別学力検査等	総合問題		200	200	
後期 (10)	大学入学 共通テスト 3教科4科目 又は 4教科4科目	国 語	『国語』	100	400	550
		地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	(100)		
		理 科 情 報	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』から1科目	(100)		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』から1科目	(100)		
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	(100)		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目	100		
	個別学力検査等	総合問題		150	150	

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

■ 前期

ア 「地理歴史、公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「数学」、「理科」、「情報」において、指定した科目のうち、複数の科目を受験している場合、次の各教科（①、②～③のパターン及び④）を比較し、最も高得点となる教科の得点を採用します。

- ① 「数学」においては、最高得点の科目の得点
- ② 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ③ 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点
- ④ 「情報」において、その得点

■ 後期

ア 「地理歴史、公民」、「理科」、「情報」、「数学」において、複数の科目を受験している場合、次の各教科（①、②～③のパターン及び④並びに⑤）を比較して、得点の高い順に2科目の得点を採用します。

- ① 「地理歴史、公民」においては、第1解答科目の得点
- ② 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ③ 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点
- ④ 「情報」においては、その得点
- ⑤ 「数学」においては、その得点

イ 「3教科4科目」となるのは、「数学」において2科目を受験している場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料（論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等）をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

県立広島大学・地域への志向性（5点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 地域創生学部 地域創生学科 経営コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (22)	大学入学 共通テスト 5教科5科目	国 語	『国語』	100	500	650
		地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1科目	100		
		理 科 情 報	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』から1科目	100		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目	100		
	個別学力検査等	総合問題		150	150	
後期 (4)	大学入学 共通テスト 3教科4科目 又は 4教科4科目	国 語	『国語』	100	400	400
		地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	(100)		
		理 科 情 報	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』から1科目	(100)		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』から1科目	(100)		
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	(100)		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目	100		
	個別学力検査等	実施しない				

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

■ 前期

- ア 「地理歴史、公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- イ 「理科」、「情報」において、指定した科目のうち、複数の科目を受験している場合、次の各教科(①～②のパターン及び③)を比較し、最も高得点となる教科の得点を採用します。
- ① 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ② 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点
- ③ 「情報」において、その得点
- ウ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
80点満点	20点満点	100点満点

- エ 「数学」において、2科目を受験している場合は、指定した科目のうち、最高得点の科目の得点を採用します。

■ 後期

- ア 「地理歴史、公民」、「理科」、「情報」、「数学」において、複数の科目を受験している場合、次の各教科(①、②～③のパターン及び④並びに⑤)を比較して、得点の高い順に2科目の得点を採用します。
- ① 「地理歴史、公民」においては、第1解答科目の得点
- ② 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ③ 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点
- ④ 「情報」においては、その得点
- ⑤ 「数学」においては、その得点
- イ 「3教科4科目」となるのは、「数学」において2科目を受験している場合のみです。
- ウ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
80点満点	20点満点	100点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

日程	区分	内容及び採点・評価の基準
前期	総合問題	複数の課題文や資料(論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等)をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書(提出は任意)に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点（前期のみ）及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (20)	大学入学 共通テスト 5教科6科目	国 語	『国語』	100	600	750
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から1科目	100		
		数 学 情 報	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『情報Ⅰ』 から1科目	100		
		理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「地学基礎」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から2科目	200		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目	100		
	個別学力検査等	面接		150	150	

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

- ア 「地理歴史、公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- イ 「数学」、「情報」において、指定した科目のうち、複数の科目を受験している場合、次の各教科（①及び②）を比較し、最も高得点となる教科の得点を採用します。
- ①「数学」においては、最高得点の科目の得点
- ②「情報」において、その得点
- ウ 「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。（例：『化学基礎、生物基礎』及び『化学』を選択）
- エ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」（100点）及び「リスニング」（100点）の得点を次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
80点満点	20点満点	100点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
面接	地域課題に対する関心・探究意欲、高校生活、健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、個別学力検査、大学入学共通テストの理科の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。

■ 地域創生学部 情報学科

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (20)	大学入学 共通テスト 5教科6科目	国 語	『国語』	200	900	1,100
		地理歴史 公 民 理 科	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 から1科目	150		
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	150		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期 (4)	大学入学 共通テスト 4教科5科目	国 語	『国語』	200	900	900
		地理歴史 公 民 理 科 情 報	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』 から1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 から1科目	200		
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	200		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目	200		
	個別学力検査等	実施しない				

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

■ 前期

ア 「地理歴史、公民」、「理科」において、複数の科目を受験している場合、次の各教科(①及び②～③のパターン)を比較し、最も高得点となる教科の得点を採用します。

- ① 「地理歴史、公民」においては、第1解答科目の得点
- ② 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ③ 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

イ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
160点満点	40点満点	200点満点

■ 後期

ア 「地理歴史、公民」、「理科」、「情報」において、複数の科目を受験している場合、次の各教科(①、②～③のパターン及び④)を比較して、最も高得点となる教科の得点を採用します。

- ① 「地理歴史、公民」においては、第1解答科目の得点
- ② 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ③ 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点
- ④ 「情報」においては、その得点

イ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
160点満点	40点満点	200点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

日程	区分	内容及び採点・評価の基準
前期	面接	地域課題に対する関心・探究意欲・高校生活、情報学に対する興味・学修意欲、情報学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- ・ 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書(提出は任意)** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点(前期のみ)及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は個別学力検査(前期のみ)、大学入学共通テストの数学の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。

■ 生物資源科学部 地域資源開発学科

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (14)	大学入学 共通テスト 【4教科6科目】	数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 から1科目	100	800	900
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100		
		理 科	①『化学』、『生物』 から1科目	150		
			②『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうち ①で選択していない科目から1科目	150		
		外 国 語	『英語』	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	総合問題		100	100	

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア 「理科」②において、基礎を付した科目を選択する場合、①の科目と同一名称を含む科目の選択が可能です。

(例：①化学、②化学基礎及び生物基礎や、①生物、②生物基礎及び地学基礎など)

イ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング		リスニング	合計
160点満点		40点満点	200点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料(論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等)をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書(提出は任意)に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (23)	大学入学 共通テスト 【4教科4科目】	国 語	『国語』	(100)	400	550
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から 1科目	(100)		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、 『韓国語』 から 1科目	(100)		
		数 学 情 報	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、 『情報Ⅰ』 から 1科目	100		
		理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から 1科目	100		
	個別学力検査等	総合問題		150	150	
後期 (10)	大学入学 共通テスト 【3教科5科目】	数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 から 1科目	100	500	700
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100		
		理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から 2科目	200		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から 1科目	100		
	個別学力検査等	総合問題		200	200	

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

■ 前期・後期共通

ア 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	計
80点満点	20点満点	100点満点

■ 前期

ア 「国語」、「地理歴史、公民」、「外国語」において、複数の科目を受験している場合、次の各教科(①、②～③のパターン及び④)を比較して、得点の高い順に2科目の得点を採用します。

- ① 「国語」においては、100点満点に換算した得点
- ② 「地理歴史、公民」においては、1科目のみを受験している場合、その得点
- ③ 「地理歴史、公民」においては、2科目を受験している場合は、より得点が高い科目の得点
- ④ 「外国語」においては、「■ 前期・後期共通 ア」のとおりに換算した得点

イ 「数学」、「情報」において、複数の科目を受験している場合、次の各教科(①及び②)を比較して、最も高得点となる教科の得点を採用します。

- ① 「数学」においては、最高得点の科目の得点
- ② 「情報」においては、その得点

ウ 「理科」においては、2科目を受験している場合は、より得点が高い科目の得点を採用します。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料(論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等)をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- ・ 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した
評価申請書(提出は任意)に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (23)	大学入学 共通テスト 【4教科6科目】	数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』から1科目	100	850	1,050
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100		
		理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目	400		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	50		
	個別学力検査等	総合問題		200	200	
後期 (10)	大学入学 共通テスト 【3教科5科目】	数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』から1科目	100	800	1,000
			『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100		
		理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目	400		
		外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目	200		
	個別学力検査等	総合問題		200	200	

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

■ 前期・後期共通

ア 理科2科目については、各200点の配点で評価します。

イ 「外国語」の科目のうち「英語」については、「リーディング」(100点)及び「リスニング」(100点)を、次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	計
160点満点	40点満点	200点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	複数の課題文や資料(論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等)をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性(5点満点)

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書(提出は任意)に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 看護学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科目名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (33)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国語	『国語』	200	800	1,000
		地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ⅳ』から1科目	100		
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』から1科目	100		
		外国語	『英語』	200		
		情報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期 (6)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国語	『国語』	200	800	1,000
		地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ⅳ』から1科目	100		
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』から1科目	100		
		外国語	『英語』	200		
		情報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

■ 前期・後期共通

ア「地理歴史、公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ「数学」においては、最高得点の科目の得点を採用します。

ウ「理科」の選択において、指定した科目のうち、次の得点を採用します。

- ① 1科目のみを受験している場合、その得点
- ② 2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区 分	内容及び採点・評価の基準
面 接	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向、高校生活における活動、保健医療福祉に関する諸問題などについて質問します。さらに、判断力・思考力、コミュニケーション力、協働性、倫理観などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- ・ 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接、大学入学共通テストの外国語、数学、国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。 ただし、面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 理学療法学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科目名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (16)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国語	『国語』	150	800	1,000
		地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ』から1科目	150		
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100		
		外国語	『英語』	200		
		情報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期 (3)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国語	『国語』	150	800	1,000
		地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』から1科目	100		
		数学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ』から1科目	150		
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目	100		
		外国語	『英語』	200		
		情報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

■ 前期・後期共通

ア「地理歴史、公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ「数学」においては、最高得点の科目の得点を採用します。

ウ「理科」の選択において、指定した科目のうち、次の得点を採用します。

- ① 1科目のみを受験している場合、その得点
- ② 2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区 分	内容及び採点・評価の基準
面 接	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向や高校生活における活動、リハビリテーション領域の社会的問題などについて質問します。さらに、理学療法士として主体性と協働性を兼ね備え、チームで活動できる人材として望まれる態度、表現力、判断力などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接、大学入学共通テストの外国語、数学、国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。 ただし、面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 作業療法学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (16)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国 語	『国語』	200	800	1,000
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から 1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』 から 1科目	100		
		理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から 1科目	100		
		外 国 語	『英語』	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期 (3)	大学入学 共通テスト 【6教科6科目】	国 語	『国語』	200	800	1,000
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から 1科目	100		
		数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』 から 1科目	100		
		理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から 1科目	100		
		外 国 語	『英語』	200		
		情 報	『情報Ⅰ』	100		
	個別学力検査等	面接		200	200	

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

■ 前期・後期共通

ア 「地理歴史、公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「数学」においては、最高得点の科目の得点を採用します。

ウ 「理科」の選択において、指定した科目のうち、次の得点を採用します。

- ① 1科目のみを受験している場合、その得点
- ② 2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区 分	内容及び採点・評価の基準
面 接	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向、高校生活における活動などについて質問します。さらに、作業療法に携わる人材として望まれる態度、積極性、理解力、表現力及び明確な目的意識などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- ・ 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接、大学入学共通テストの国語、数学、外国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。 ただし、面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 コミュニケーション障害学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (16)	大学入学 共通テスト 【5教科5科目】	国 語	『国語』	200	700	900
		地 理 歴 史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 から 1科目	100		
		数 学 情 報	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『情報Ⅰ』 から 1科目	100		
		理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から 1科目	100		
		外 国 語	『英語』	200		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期 (3)	大学入学 共通テスト 【3教科3科目】	国 語	『国語』	200	500	600
		数 学 情 報	『数学Ⅰ、数学A』、『情報Ⅰ』 から 1科目	100		
		外 国 語	『英語』	200		
	個別学力検査等	面接		100	100	

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

■ 前期・後期共通

ア 「地理歴史、公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

イ 「数学」「情報」において、指定した科目のうち、最も高得点となる教科の得点を採用します。

ウ 「理科」の選択において、指定した科目のうち、次の得点を採用します。

① 1科目のみを受験している場合、その得点

② 2科目を受験している場合、第1解答科目の得点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区 分	内容及び採点・評価の基準
面 接	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向、言語聴覚士についての理解、高校生活における活動などについて質問します。さらに、対人援助職である言語聴覚士として望まれる態度、思考力、判断力、表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、大学入学共通テストの得点が高い順に合格とします。ただし、面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科 目 名	配点		
				科目 配点	区分 合計	総合計
前期 (21)	大学入学 共通テスト 【3教科3科目】	国 語	『国語』	200	600	1,000
		地 理 歴 史 公 民 数 学 理 科 情 報	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』から1科目	200		
		外 国 語	『英語』	200		
	個別学力検査等	総合問題		200	400	
		面接		200		
後期 (3)	大学入学 共通テスト 【3教科3科目】	国 語	『国語』	200	600	1,000
		地 理 歴 史 公 民 数 学 理 科 情 報	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』、『情報Ⅰ』から1科目	200		
		外 国 語	『英語』	200		
	個別学力検査等	総合問題		200	400	
		面接		200		

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

■ 前期・後期共通

ア 「地理歴史、公民」、「数学」、「理科」「情報」において、複数の科目を受験している場合、次の各教科 ①、②、③～④のパターン及び⑤) を比較して最高得点となる教科の得点を採用し、表に示した点数に換算します。

- ① 「地理歴史、公民」においては、第1解答科目の得点
- ② 「数学」においては、最高得点の科目の得点
- ③ 「理科」において、1科目のみを受験している場合、その得点
- ④ 「理科」において、2科目を受験している場合、第1解答科目の得点
- ⑤ 「情報」においては、その得点、

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

科目	内容及び採点・評価の基準
総 合 問 題	複数の課題文や資料（論説・記事・説明文等の日本語の文章、図表・グラフ等）をもとに、理解力、読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問を課します。解答の内容を総合的に判断し、点数化して評価します。
面 接	志望理由書とあわせて、福祉に対する興味、学修意欲などについて質問し、判断力、表現力、論理的思考力、理解力などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点対象

- ・ 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と、本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接、大学入学共通テストの外国語、国語、選択した科目の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。

7 学校推薦型選抜

学部・学科・コース共通事項

(1) 出願資格

各学部・学科・コースごとに定めるすべての要件を満たす者としてします。

出願にあたっては、令和8年度学校推薦型選抜学生募集要項を必ず確認してください。

(2) 選抜方法

各学部・学科・コースごとに定める試験科目及び書類審査等の結果を総合して行います。

原則、令和8年度大学入学共通テストの受験は免除とします。

ただし、地域創生学部地域創生学科健康科学コースについては、合否判定に利用するため、下記の表に指定する教科・科目の受験が必要です。

■ 地域創生学部地域創生学科健康科学コース＜合否判定に利用します＞

募集区分	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目等
県内高等学校等 推薦	理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から2科目
県内専門高等学校等 推薦		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）
全国高等学校等 推薦		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から2科目

※ 「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。（例：『化学基礎、生物基礎』及び『化学』を選択）

(3) 「主体性・協働性」の評価

学校推薦型選抜では、「主体性・協働性」は、高等学校等における学びの履歴について、調査書を中心として評価することとし、得点化を行います。詳細は1ページを確認してください。

(4) 「県立広島大学・地域への志向性」の評価

本学が掲げる「課題探究型地域創生人材」育成の観点から、これまでの取組で考えたことなどを受験者が記載した、評価申請書（提出は任意）に基づき、最大5点までの範囲で加点方式により評価します。詳細は1ページを確認してください。

(5) 個別学力検査等の試験場

学 部	試 験 場
地 域 創 生 学 部	県立広島大学広島キャンパス
生 物 資 源 科 学 部	県立広島大学庄原キャンパス
保 健 福 祉 学 部	県立広島大学三原キャンパス

■ 地域創生学部 地域創生学科 国際共生コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は令和8年3月31日までにこれを卒業する見込みである者のうち、次の1又は2のいずれかに該当する者で、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。
 - 1 高等学校等の普通科若しくは外国語に関する学科若しくは国際関係に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
 - 2 高等学校等の総合学科若しくは理数に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、国語、外国語及び国際理解に関する教科・科目の単位を30単位以上修得した者又は修得する見込みである者

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (15)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者のうち、上記①に該当する者
全国高等学校等推薦 (5)	広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者のうち、上記①に該当する者

- ② 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
- ③ 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
- ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり3人まで
- ② 全国高等学校等推薦 1学校当たり1人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	140	論理的な思考力、独創性、読解力、基本的な文章の表現力、記述力などについて総合的に判断し、点数化して評価します。	
	学修計画書に関する面接	60	おもに出願時に提出された学修計画書（A4判2枚）に基づいて、国際共生コースで学ぶことに対する意欲や目的意識等について質問し、応答の内容・態度、目的意識の高さなどを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「6. 特別活動の記録」 「7. 指導上参考となる諸事項」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- ・ 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び学修計画書に関する面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、「小論文」の得点の高い順に合格とします。

■ 地域創生学部 地域創生学科 経営コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (16)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の商業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、商業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦 (4)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 県内高等学校等推薦及び全国高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が3.7以上の者であること。
県内専門高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
③ 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

1 学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	論文・評論等を題材とする問題で、大学で経営学を学ぶ上での基本的な理解力、論理的思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	80	経営を学ぶことに対する志望動機・意欲、高校生活及び日ごろ興味を持っていること、地域社会が抱える様々な課題への関心とその課題解決への熱意・意欲、海外留学経験などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「6. 特別活動の記録」 「7. 指導上参考となる諸事項」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点对象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

■ 地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は令和8年3月31日までにこれを卒業する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（9）	広島県内の高等学校等の普通科、国際に関する学科、理数に関する学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科、家庭に関する学科若しくは体育に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する学科、家庭に関する学科若しくは体育に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高専等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高専専門学科第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
- 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
- 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）
- 令和8年度大学入学共通テストに出願し、理科を受験する者であること。（下記の表を参照）

(2) 推薦人員

- 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人まで
- 県内専門高等学校推薦 1学校の各学科から1人まで
- 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点	
県内 高等学校等 推薦	大 学 入 学 共通テスト 【理 科】	200	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から2科目	
	面 接	200	健康に関する課題及びその解決策についてのプレゼンテーション（4分以内）を実施するとともに、地域課題に対する関心・探究意欲、健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
県内専門 高等学校等 推薦	大 学 入 学 共通テスト 【理 科】	160	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）（100点を160点に換算）	
	面 接	240	健康に関する課題及びその解決策についてのプレゼンテーション（4分以内）を実施するとともに、地域課題に対する関心・探究意欲、健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
全国 高等学校等 推薦	大 学 入 学 共通テスト 【理 科】	200	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「 <u>地学基礎</u> 」除く）、『物理』、『化学』、『生物』 から2科目	
	面 接	200	健康に関する課題及びその解決策についてのプレゼンテーション（4分以内）を実施するとともに、地域課題に対する関心・探究意欲、健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
募集区分 共通	調 査 書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「6. 特別活動の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
			「7. 指導上参考となる諸事項」	
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

※ 「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。（例：『化学基礎、生物基礎』及び『化学』を選択）

※ 面接におけるプレゼンテーションの詳細については、学生募集要項にて公表予定です。

■ 加点点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
面接及び大学入学共通テストの得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

■ 地域創生学部 情報学科

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (10)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の商業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の工業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者（注） 3 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、商業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者 4 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者（注） （注）ただし、上記2又は4に該当する者にあつては、「工業技術基礎」及び「工業情報数理」2科目を履修している者に限る。
全国高等学校等推薦 (3)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 県内高等学校等推薦及び全国高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が3.7以上の者であること。
県内専門高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
③ 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり2人まで（ただし、4人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小 論 文	100	論文・評論等を題材とする問題で、大学で応用情報学を学ぶ上での基本的な理解力、論理的思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面 接	80	応用情報を学ぶことに対する志望動機・意欲、高校生活および日ごろ興味を持っていること、地域社会が抱える様々な課題への関心とその課題解決への熱意・意欲、海外留学経験などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調 査 書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「6. 特別活動の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

募集区分共通

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

県内専門高等学校等推薦のみ

- 対象資格の取得
対象資格（※）の取得者には最大20点の範囲で加点を行います。ただし、高等学校在学中に取得した資格が対象で、複数の実績がある場合は、最も得点の高い値を採用します。
※ 対象資格及び得点
① 全商情報処理検定 ビジネス情報部門1級とプログラミング部門1級の両部門合格（全国商業高等学校協会主催） 8点
② 全工情報技術検定1級（全国工業高等学校長協会主催） 8点
③ 情報処理技術者試験（情報処理推進機構主催）
ITパスポート試験 10点、 基本情報技術者試験 15点、 応用情報技術者試験 20点

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

■ 生物資源科学部 地域資源開発学科

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（5）	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（4）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科、工業に関する学科若しくは商業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目、工業に関する教科・科目若しくは商業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（6）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
③ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部及び転学科は、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり3人まで（ただし、6人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点	
募集区分 共通	小論文	100	現代社会や自然科学、農業や食品等に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。	
	面接	100	地域資源開発学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書等	30	主体性や共同性について、高等学校における学びの履歴などを点数化して評価します。評価対象は次の項目と島す。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「3. 各教科の学習成績の状況」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
「5. 総合的な探究の時間の記録」				
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。
- 海外への留学経験（10点満点）
海外への留学経験について、提出書類（該当者は提出）と面接での質疑応答を通して最大10点までの範囲で面接の得点に、加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要件
県内高等学校等推薦（7）	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（6）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
③ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり3人まで（ただし、6人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点	
募集区分 共通	小論文	100	現代社会や自然科学、生命科学に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。	
	面接	100	生命科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書等	30	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「3. 各教科の学習成績の状況」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
「5. 総合的な探究の時間の記録」				
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。
- 海外への留学経験（10点満点）
海外への留学経験について、提出書類（該当者は提出）と面接での質疑応答を通して最大10点までの範囲で面接の得点に、加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（7）	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（6）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高専第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
③ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり3人まで（ただし、6人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点	
募集区分 共通	小 論 文	100	現代社会や自然科学、環境科学に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。	
	面 接	100	環境科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調 査 書 等	30	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「3. 各教科の学習成績の状況」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「5. 総合的な探究の時間の記録」				
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。
- 海外への留学経験（10点満点）
海外への留学経験について、提出書類（該当者は提出）と面接での質疑応答を通して最大10点までの範囲で面接の得点に、加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 看護学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (20)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	次のいずれにも該当する者 1 広島県内の高等学校等の職業教育を主とする学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 看護に関する科目（「高等学校学習指導要領（平成21年文部省告示第34号）」第1章第2款又は「特別支援学校高等部学習指導要領（平成21年文部省告示第37号）」第1章第2節第2款に掲げる教科のうち、看護に属する科目に相当するものを指す。）を修得した者又は修得する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者であること。
③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり3人まで
② 県内専門高等学校等推薦 1学校当たり1人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準						
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。						
	面接	100	看護学分野に対する興味・関心・意欲、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、判断力・思考力、コミュニケーション力、協働性、倫理観などを総合的に判断して、点数化して評価します。						
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。						
			<table><tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr><tr><td>「5. 総合的な探究の時間の記録」</td><td rowspan="3">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr><tr><td>「6. 特別活動の記録」</td></tr><tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項」</td></tr></table>		調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例	「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	「6. 特別活動の記録」
調査書での該当する記載欄			評価基準又は高い評価となる例						
「5. 総合的な探究の時間の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。						
「6. 特別活動の記録」									
「7. 指導上参考となる諸事項」									
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。									

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合是不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 理学療法学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (11)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

1学校当たり3人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
県内 高等学校等 推薦	小 論 文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面 接	100	理学療法分野および地域課題の基本事項、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、理学療法士としてチームで活動できる人材として望まれる態度、協調性、思考力などを総合的に判断して、点数化して評価します。	
	調 査 書 等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点对象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 作業療法学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (9)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
全国高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高専等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高専等第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人まで
 ② 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	100	本コースで学ぶことへの意欲と志向、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、作業療法に携わる人材として望まれる態度、積極性、理解力、表現力及び明確な目的意識などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「5. 総合的な探究の時間の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 コミュニケーション障害学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (7)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
全国高等学校等推薦 (4)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高専等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高専第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1 学校当たり 2 人まで
 ② 全国高等学校等推薦 1 学校当たり 2 人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	100	本コースで学ぶことへの意欲と志向及び言語聴覚士についての理解、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、対人援助職である言語聴覚士として望まれる態度、思考力、判断力、表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「5. 総合的な探究の時間の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (12)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	広島県内の高等学校等の福祉に関する学科若しくは家庭に関する学科の生活福祉科若しくは人間福祉科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
全国高等学校等推薦 (3)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人まで
 ② 県内専門高等学校等推薦 1学校当たり1人まで
 ③ 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	100	社会福祉に関連する地域課題探究への意欲と志向、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、論理的思考力、表現力、理解力などを総合的に判断して、点数化することで評価します。	
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。 評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。

8 総合型選抜

(1) 実施学部・学科及び募集人員

学 部	学 科	コース	募集人員
地域創生学部	地 域 創 生 学 科	国際共生コース	10
生物資源科学部	地域資源開発学科		9

(2) 出願要件

令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者

(3) 選抜方法等

出願時に提出を求める書類をもとに、第1次選抜及び第2次選抜からなる2段階選抜を実施します。

2段階選抜の実施要件は、志願者数が募集人員の2倍を超えた場合とし、要件を満たさなかった場合は実施しません。

2段階選抜を実施する場合、令和7年9月22日（月）に、第1次選抜合格者に対して結果を通知します。

学部・学科・コース	区 分	内 容	配点	内容及び採点・評価の基準						
地域創生学部・国際共生コース 地域創生学科	第1次選抜 【書類審査】	志 望 理 由 書	100	これまでの主体的な学びへの取り組みをふまえ、国際共生コースへの興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意を記載してください。記載内容と記述の論理性・説得力などを総合的に判断し、点数化して評価します。						
		活動実績 報 告 書 及 び 調 査 書	100	これまでの主体的な学びへの取り組みについて、活動実績報告書及び調査書を用いて採点します。総合的な探究の時間等において取り組んだ課題研究、言語能力、取得資格・検定、国内外での異文化体験や国際交流、委員会・部活動・ボランティア活動、各種コンクールや大会での活動成果、それらの成果獲得に向けた努力のプロセス等を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、高等学校における学びの履歴等を調査書で確認します。 <table><tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr><tr><td>「5. 総合的な探究の時間の記録」</td><td rowspan="3">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr><tr><td>「6. 特別活動の記録」</td></tr><tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項」</td></tr></table> ※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。		調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例	「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	「6. 特別活動の記録」
	調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例								
「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。									
「6. 特別活動の記録」										
「7. 指導上参考となる諸事項」										
第2次選抜	面 接	200	これまでの主体的な学びの成果と入学後の学修計画についてのプレゼンテーション（10分以内）を実施するとともに、プレゼンテーションの内容および国際共生コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から国際共生コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。							
生物資源科学部・地域資源開発学科	第1次選抜 【書類審査】	志 望 理 由 書	100	学科への興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性・説得力などを総合的に判断し、点数化して評価します。						
		活動実績 報 告 書 及 び 調 査 書	100	主体性や協働性について、活動実績報告書及び調査書を用いて採点します。総合的な探究の時間等において取り組んだ課題研究、委員会・部活動・ボランティア活動、各種コンクールや大会等での活動成果、言語能力、取得資格・検定、海外での学習成果、それらの成果獲得に向けた努力のプロセス等を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、高等学校における学びの履歴等を調査書で確認します。 <table><tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr><tr><td>「5. 総合的な探究の時間の記録」</td><td rowspan="3">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr><tr><td>「6. 特別活動の記録」</td></tr><tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項」</td></tr></table> ※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。		調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例	「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	「6. 特別活動の記録」
	調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例								
「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。									
「6. 特別活動の記録」										
「7. 指導上参考となる諸事項」										
第2次選抜	面 接	200	地域課題及びその解決策についてのプレゼンテーション（10分程度）を実施するとともに、学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。							

■ 加算対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点） ※第1次選抜で採点・評価します。
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加算します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
第1次選抜及び第2次選抜における得点により合否を判定します。 合格最低点での同点者は、第2次選抜（面接）の得点の高い順に合格とします。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

9 社会人特別選抜

(1) 実施学部・学科・コース及び募集人員等

学 部	学 科	コ ー ス	募集人員	出願資格等（下記(2)を参照）			
				ア	イ	ウ	エ
地域創生学部	地域創生学科	国際共生コース	若干名	●	—	●	—
		経営コース	若干名	●	—	●	—
		健康科学コース	若干名	●	—	●	●
	情報学科	—	若干名	●	—	●	—
生物資源科学部	地域資源開発学科	—	若干名	●	—	●	—
	生命環境学科	生命科学コース	若干名	●	—	●	—
		環境科学コース	若干名	●	—	●	—
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	若干名	—	●	●	—
		理学療法学コース	若干名	—	●	●	—
		作業療法学コース	若干名	—	●	●	—
		コミュニケーション障害学コース	若干名	—	●	●	—
		人間福祉学コース	若干名	—	●	●	—
		—	—	—	—	—	—

(2) 出願資格等

出願する者は、学部・学科・コースごとに定める●がついた出願資格等にすべて該当する者としてします。

ア 令和8年4月1日現在、満23歳以上の者で、入学時において3年以上（通算可）の職歴を有していること。

イ 令和8年4月1日現在、満23歳以上の者で、入学時において3年以上（通算可）の職歴、若しくはその他の社会的経験を有していること。

なお、その他の社会的経験には、学業及び在学中（休学期間は除く）の経験は含まない。

ウ 次の①～③のいずれかに該当していること。

① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者又は令和8年3月31日までにこれを卒業する見込みである者

② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和8年3月31日までにこれを修了する見込みである者

③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和8年3月31日までにこれに該当する見込みである者

エ TOEIC®(L&R 又は S&W) 又は TOEFL iBT®を令和6（2024）年4月1日以降に受験していること。

(3) 選抜方法

令和8年度大学入学共通テストを免除して、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。

(4) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

学部・学科	コース	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準
地域創生学部 地域創生学科	国際共生コース	小論文	100	論説・評論等を題材とする問題で、国際共生コースで学ぶ上での基本的な理解力、思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	国際共生コースで学ぶことに対する意欲・志向、日ごろの関心事などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。 ※面接時の参考資料として、過去に受験した TOEIC®等の外国語検定試験のスコアシートを出願書類に添付することを認めます。
	経営コース	小論文	100	論文・評論等を題材とする問題で、経営を学ぶ上での基本的な理解力、思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	経営コースで学ぶことに対する意欲・志向、日ごろの関心事などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	健康科学コース	小論文	100	論文や資料・図表等を題材として、「健康科学コースで学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力などを見るための設問」と「理科（化学基礎及び生物基礎）の学力を見るための設問」を行い、これらを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		TOEIC® 又は TOEFL®	20	TOEIC®(L&R 又は S&W) 又は TOEFL® iBT®のスコア証明書に基づき、コースで定める換算式等を用いて20点満点に換算します。
	—	小論文	100	論文・評論等を題材とする問題で、情報学を学ぶ上での基本的な理解力、思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	情報学科で学ぶことに対する意欲・志向、日ごろの関心事などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。

(試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準の続き)

学部・学科	コース	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準
生物資源科学部 地域資源開発学科	—	小論文	100	現代社会や自然科学、農業や食品等に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	地域資源科学において関心を持つべき事項、県立広島大学・地域への志向性等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から、当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
生物資源科学部 生命環境学科	生命科学 コース	小論文	100	現代社会や自然科学、生命科学に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	生命科学コースにおいて関心を持つべき事項、県立広島大学・地域への志向性等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から、当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	環境科学 コース	小論文	100	現代社会や自然科学、環境科学に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	環境科学コースにおいて関心を持つべき事項、県立広島大学・地域への志向性等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から、当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
保健福祉学部 保健福祉学科	看護学 コース	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向などについて質問します。さらに、判断力・思考力、コミュニケーション力、協働性、倫理観などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	理学療法学 コース	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向、リハビリテーション領域の社会的問題などについて質問します。さらに、理学療法士として主体性と協働性を兼ね備え、チームで活動できる人材として望まれる態度、表現力、判断力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	作業療法学 コース	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向などについて質問します。さらに、作業療法に携わる人材として望まれる態度、積極性、理解力、表現力および明確な目的意識などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	コミュニケーション 障害学コース	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向、言語聴覚士についての理解などについて質問します。さらに、対人援助職である言語聴覚士として望まれる態度、思考力、判断力、表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	人間福祉学 コース	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本コースで学ぶことへの意欲と志向などについて質問します。さらに、福祉に対する興味、学修意欲などについて質問し、判断力、表現力、論理的思考力、理解力などを総合的に判断し、点数化して評価します。

■ 加点对象

- 主体性・協働性（5点満点）
主体性や協働性について、自己申告書（提出は任意）に基づき、最大5点までの範囲で加点します。
- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(5) 合否判定基準

学部	学科	コース	合否判定基準
地域創生学部	地域創生学科	国際共生コース	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
		経営コース	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
		健康科学コース	小論文、面接及びTOEIC®又はTOEFL®の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
	情報学科	—	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
生物資源科学部	地域資源開発学科	—	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
	生命環境学科	生命科学コース 環境科学コース	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学コース	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがあります。
		理学療法学コース	
		作業療法学コース	
		コミュニケーション 障害学コース	
		人間福祉学コース	

10 外国人留学生特別選抜

(1) 実施学部・学科・コース及び募集人員

学 部	学 科	コ ー ス	募集人員
地域創生学部	地域創生学科	国 際 共 生 コ ー ス	3
		経 営 コ ー ス	2
		健 康 科 学 コ ー ス	2
	情 報 学 科	—	2
生物資源科学部	地域資源開発学科	—	2
	生 命 環 境 学 科	生 命 科 学 コ ー ス	2
		環 境 科 学 コ ー ス	2

(2) 出願資格等

出願する者は、次の各号のいずれにも該当する必要があります。

- ア 外国の国籍を有する者で、大学において教育を受ける目的を持って入国している者又は入国しようとする者
- イ 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（次のいずれかに該当する者を含みます。）
- ① スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書を授与された者
 - ② フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格に係る資格証書を授与された者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格に係る一般的大学入学資格証明書を授与された者
 - ④ グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE-A レベル資格）を有する者
 - ⑤ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、NEASC、CSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ウ 2025 年度に実施した日本留学試験の各学部・学科等が試験科目等として指定している科目を受験している者
- エ TOEIC®(L&R 又は S&W)又は TOEFL iBT®を令和 6（2024）年 4 月 1 日以降に受験していること。

(3) 選抜方法

令和 8 年度大学入学共通テストを免除して、本学が行う試験及び日本留学試験の結果を総合して選抜します。

(4) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

学部	学科・コース	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準
地域創生学部	国際共生コース	面接	250	国際共生コースで学ぶ目的、勉学に対する意欲・志向等について質問し、日本語能力、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。 学修に必要なコミュニケーション能力を重視します。
		日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述） ※記述問題の配点 50 点を 150 点に換算します。	550	
		総合科目	200	
		TOEIC®又は TOEFL®	50	TOEIC®又は TOEFL®のスコア証明書に基づき、TOEIC®又は TOEFL®のスコアをコースで定める換算式等を用いて 50 点満点に換算します。
	経営コース	面接	200	経営を学ぶことに対する意欲・志向、日ごろの関心事などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述） ※記述問題の配点 50 点を 150 点に換算します	550	
		総合科目	200	
		TOEIC®又は TOEFL®	50	TOEIC®又は TOEFL®のスコア証明書に基づき、TOEIC®又は TOEFL®のスコアを志向枠で定める換算式等を用いて 50 点満点に換算します。
	健康科学コース	面接	300	健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識及び理科に関する基礎的事項について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		日本留学試験【出題言語：日本語又は英語】		
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述）	450	
		理科（化学、生物）	200	
		TOEIC®又は TOEFL®	100	TOEIC®又は TOEFL®のスコア証明書に基づき、TOEIC®又は TOEFL®のスコアをコースで定める換算式等を用いて 100 点満点に換算します。

(試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準の続き)

地域創生学部	情報学科	面接	200	情報学科で学びたいという志望動機・意欲、情報についての関心度などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述）	450	
		数学（コース1又はコース2） ※数学200点満点を300点に換算します。	300	
		TOEIC®又はTOEFL®	100	TOEIC®又はTOEFL®のスコア証明書に基づき、TOEIC®又はTOEFL®のスコアをコースで定める換算式等を用いて100点満点に換算します。
生物資源科学部	地域資源開発学科	面接	300	地域資源開発学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。
		日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述） ※記述問題の配点50点を150点に換算します。	550	
		理科（物理・化学・生物から2科目を選択）	200	
		数学（コース2）	200	
		TOEIC®又はTOEFL®	50	TOEIC®又はTOEFL®のスコア証明書に基づき、TOEIC®又はTOEFL®のスコアを学部で定める換算式等を用いて50点満点に換算します。
	生命科学コース 環境科学コース	面接	300	生命科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。
		日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述） ※記述問題の配点50点を150点に換算します。	550	
		理科（物理・化学・生物から2科目を選択）	200	
		数学（コース2）	200	
		TOEIC®又はTOEFL®	50	TOEIC®又はTOEFL®のスコア証明書に基づき、TOEIC®又はTOEFL®のスコアを学部で定める換算式等を用いて50点満点に換算します。
		面接	300	環境科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。
		日本留学試験【出題言語：日本語のみ】		
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述） ※記述問題の配点50点を150点に換算します。	550	
		理科（物理・化学・生物から2科目を選択）	200	
		数学（コース2）	200	
		TOEIC®又はTOEFL®	50	TOEIC®又はTOEFL®のスコア証明書に基づき、TOEIC®又はTOEFL®のスコアを学部で定める換算式等を用いて50点満点に換算します。

(5) 合否判定基準

学部・学科	コース	合否判定基準
地域創生学部 地域創生学科	国際共生コース	面接の得点と、日本留学試験及びTOEIC®又はTOEFL®の得点の合計点を総合的に審査し、合否を判定します。
	経営コース	
	健康科学コース	
地域創生学部 情報学科	—	面接の得点と、日本留学試験及びTOEIC®又はTOEFL®の得点の合計点を総合的に審査し、合否を判定します。
生物資源科学部 地域資源開発学科	—	面接の得点と、日本留学試験及びTOEIC®又はTOEFL®の得点の合計点を総合的に審査し、合否を判定します。
生物資源科学部 生命科学コース	生命科学コース	
生物資源科学部 生命環境学科	環境科学コース	

11 身体障害者等の受験上の配慮及び修学上の配慮相談

身体等に障害のある入学志願者等で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願の前に相談してください。

相談内容によっては、対応に時間を要することもあるため、できるだけ早い時期に相談してください。

電話等により、必ず事前に本学へ連絡してください。内容を確認の上で、必要な書類を提出していただきます。

また、相談内容によっては、ご希望に沿えない場合がございますので、あらかじめご承知おきください。

詳細については、各入学者選抜の学生募集要項及び県立広島大学ホームページ（下記 URL）も参考にしてください。

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/32/hairyo.html>

12 個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第 150 条第 7 号（大学による個別の入学資格審査）による出願を希望する者は、各入学者選抜の学生募集要項に定める期日までに本部事務部入試・広報課（082-251-9540）まで連絡してください。

13 出願・入学手続

出願・入学手続はインターネットから行います。出願登録及び入学者選抜料の支払い完了後、必要書類を印刷等して、とりまとめの上、郵送等により提出していただきます。

※ 詳細については、各入学者選抜の学生募集要項を必ず確認の上、出願を行ってください。

14 入試情報（成績）の提供・開示

本学では、入試情報（成績）の提供・開示を行っています。詳細については、各入学者選抜の学生募集要項を参照してください。